

令和6年度「自然観察会」～前田森林公園自然観察会～（主催）の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	前田森林公園自然観察会（樹木ウォッチング）	
開催日時	2024（令和6年）5月26日（日）；10：00～12：20	
天 候	晴れ（微風） 最高気温22.6℃ 最低気温7.9℃ /手稲山口アメダス	
参加者数	一般参加者：5名（班編成：1班） ボラレン：9名（前日下見会 7名）	
観 察 記 録	木本	<p>〔開花〕 アカエゾマツ、アズキナシ、エゾニワトコ、エゾマツ、オオツリバナ、オニグルミ、カシグルミ、カラコギカエデ、クリ、コマユミ、タニウツギ、ツリバナ、ドイツトウヒ、トチノキ、ニシキギ、ブシ（棚）、モクレン、ムラサキハシドイ（別名：ライラック、リラ）、ヤマブキ、リギダマツ、</p> <p>〔蕾〕 オオバボダイジュ、カンボク、キササゲ、キハダ、ニワウルシ、ノリウツギ、ハクサンシャクナゲ、ハシドイ、マユミ、モミジバスズカケノキ、</p> <p>〔果実〕 アカイトヤ、イタヤカエデ、ウワズミザクラ、エゾノコリンゴ、エゾヤマザクラ、オヒョウ、ギンドロ（別名：ウラジロハコヤナギ／綿毛大量飛散）、コナラ、コバノヤマハンノキ、コブニレ、サトウカエデ、サトザクラ（種名：御衣黄、関山）、シラカンバ、ズミ、ダケカンバ、チョウセンヤマナラシ、ツタウルシ、ネグンドカエデ、ハウチワカエデ、ハルニレ、ミズナラ、ヤマグワ、ヤマナラシ、</p> <p>〔本体〕 アカナラ、アカマツ、イヌエンジュ、カツラ、セイヨウハコヤナギ（別名：ポプラ）、ブンゲンストウヒ、ホザキナナカマド（～花期は、盛夏）</p>
	草本	〔開花〕 オオイヌノフグリ、ハルジオン、ヒメオドリコソウ、ムラサキケマン、
	野鳥	ヒヨドリ、マガモ(カナル／水路)、下見会ではカッコウも *鳴声も含む
	生物等	エゾリス、メスアカケバエ（カラコギカエデの花に群がっていたのが印象的）
	その他	シャクナゲの蕾に粘液か、昆虫（ケバエの仲間？）が粘り着き死す
感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日下見会では風が冷たく（開始時11℃）心配でしたが、当日は暖かく風も穏やかで絶好の観察会日和に。・原田会員をメインガイドにした3回目の“樹木ウォッチング”です。</li> <li>・この公園は園内を自由に散策でき、花や果実など目の高さで直に観察ができることが特徴。</li> <li>・折から満開のフジ棚やトチノキに各自写真撮影をするなど、圧巻の景観に感動の様子。</li> <li>・ツル性木本／フジの樹幹形成の特色を学ぶ。一部、下枝の刈り払いで残念な樹木たちも。</li> <li>・カンボクの蕾を前に、果実の成熟が遅いことは、北に行く鳥に食べて欲しいためと・・・</li> <li>・終了予定を20分ほど超過見込を途中アナウンス。『今日は、楽しかった！』に救われる。</li> <li>・参加者にボラレンカードと2024制作のオリジナル”缶バッジ”を配付し、好評でした。</li> </ul>	



開会式／陽射しが眩しい



リギダマツの花（赤：雌花）ヤマナラシの落枝を手に果穂と葉・葉柄などを解説



コマユミ



カラコギカエデ



トチノキ(下部に両性花)



シャクナゲに昆虫



アオダモ



オオバボダイジュ蕾

（記録作成者：吉田安正、仲西正彰）